

会場に響く元気な声

あいご祭りにぎやかに開催



職員の元気な声が会場に響く



職員が名人の域に達した安来節を披露

7月20日、根雨の特別養護老人ホームあいごで、あいご祭りが開かれました。盛りだくさんの催しに、大人も子どもも楽しいひとときを過ごしました。

祭りでは、地元で活躍する同級生ユニット セブンライダー SevenRider のライブや、奥日野源流太鼓の勇壮な太鼓、職員によるソーラン節と安来節、日野高校郷土芸能部による荒神神楽が披露され、会場は大盛り上がり。豪華な共演に、入所者の皆さんも家族と共に夏祭りを楽しみました。

また、福祉用具相談コーナーや日野高シヨップのほか、職員がかき氷・焼きそばなどを提供する屋台では「いらっしやいませ!」と、流れる汗を拭きながら、笑顔をやさず元気な声で来場者を歓迎しました。

同施設の施設長、小倉格さんは多くの来場者でにぎわう会場を見渡しながら「あいごは今年で9年目。地域の支えがあつてこそ。暑い中、多くの皆さんに来ていただきうれしです。今日はあいごだけでなく日翔会の職員で頑張っています」と微笑みました。

地域に対する感謝の心

合銀が社協に車いすを寄贈



青砥会長（左から2人目）らが喜ぶ

7月17日、「ごうぎん一粒の麦の会」（今若康浩会長）が、町社会福祉協議会（青砥昭雄会長）に車いす一台を寄贈しました。

青砥会長は「社会福祉協議会がある老人福祉センターは、高齢者自立支援センターが併設しているし、地域の皆さんが車いすを借りて来られる。有効に使わせていただきたい」とあいさつしました。一粒の麦の会は、これまでもおしどり荘には車椅子、セルプひのにはイベントテントを寄贈しています。

生きの良いアユに歓声

保育所でアユつかみ取り



つかまえたアユを先生に見せる園児たち

7月23日、ひのっこ保育所（津地）でアユのつかみ取りが開かれました。園児たちはプールに放たれたおよそ250匹のアユを追いかけ、大歓声を上げてつかまえました。

これは、水を通してふるさとを大切にする子どもたちを育てたいと活動する「水と魚に親しむ会（生田正明会長）」が地域活動支援交付金を活用して実施。逃げるアユを園児は歓声を上げて追いました。



色とりどりで形もさまざまなチョロQに 木のおもちゃづくり教室でオリジナルチョロQづくり

夏休み期間中の7月27日、町図書館車庫で木のおもちゃづくり教室「オリジナルチョロQをつくらう」が開かれ、町内外から5組の親子など12人が参加しました。

動くおもちゃなどを手掛ける作家、若林孝典さん（岡山県美作市）を講師に迎え、若林さんと親交のある木のおもちゃづくりグループ（金田美紀代表）がお手伝い。

チョロQはゼンマイを動力に走る車のおもちゃで、今回は車体を



若林さん（右）が一つ一つアドバイスする

縦約10センチ、横約3センチの木の板に自分でデザインし、糸のこで形にしていくというものです。

若林さんは参加者一人一人の進行を見ながらアドバイス。できあがって並べると色も形もさまざまで、子どもたちの個性あふれるアイデアに目を細めました。「私も初めての試みで心配だったが良くなりました。たくさん遊んでほしい」と、若林さんは子どもたちに優しく語りかけました。



糸のこで思い通りの形に切っていく

会場に美しい歌声響く 日野川合唱フェスティバル



子どもたちもかわいい歌声を披露する



息の合ったコーラスを発表する

日野川沿いの町で活動しているコーラスグループが一堂に介し、日ごろの練習の成果を年に1回発表する日野川合唱フェスティバル（日野川合唱連盟主催）が、7月28日、町文化センターで開かれました。

各グループはお揃いの衣装で練習の成果を披露しました。会場は、美しいハーモニイを聞こうと満員。一曲終わるごとに大きな拍手が送られました。

また、ソプラノ歌手の小椋美香子さんらによる特別演奏や、観客も参加するコーナーもあり、合唱を楽しみました。



美しいオカリナの音色が観客を魅了する